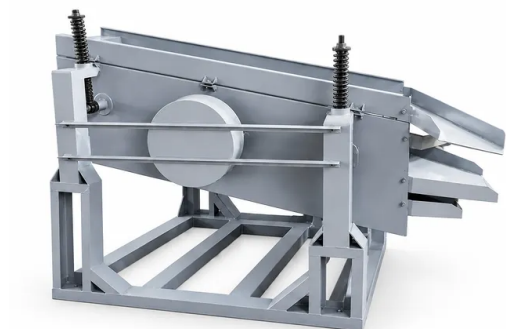


冶金用コークス粒度分類および粉コークス分析用コークスドラム試験前ふるい分け機

商品番号: KT-JTF



前書き

このコークスドラム試験前ふるい分け機は、粒子画分の分類と粉コークスの分離を精密に行うよう設計されており、冶金品質管理を最適化します。再現性の高い4段分離により、手作業を排除し、サンプリング誤差を低減し、日々の厳格な規格適合を保証します。

詳細を学ぶ

用途	説明	主な利点
ドラム試験前の準備	Micum (M40/M10) または Irsid (I20/I10) タンブルドラム試験の前に、冶金用コークスサンプルを指定の画分にサイズ分けする。	試験規格に準拠した均一な投入量を確保し、その後の機械的強度劣化分析におけるサンプルの偏りを防ぐ。
高炉用コークスの監査	入荷した高炉用コークスをスクリーニングし、準拠した粒度分布（通常25~80mm）を確認し、過大な塊を検出する。	
粉コークス含有量の判定	消火および排出時に、バルク生産バッチから25mm未満の微粉画分を正確に分離する。	歩留まり損失とコークス劣化を正確に追跡し、微粉が高温ゾーンに入るのを防ぐことで熱効率を保護する。
コークス工場スクリーンラインの最適化	製品排出ストリームで分割バッチ試験を行い、主要な工業用振動スクリーンおよびスカルパーのサイジング効率を検証する。	校正されたベンチスケールの画分検証を通じて、生産現場でのスクリーンの摩耗、不均一な供給分布、または目詰まりを特定する。
石炭配合および炭化の研究開発	代替コークス用石炭ブレンドを使用したパイロットスケールの炭化炉の物理的塊収率と崩壊傾向を評価する。	実験室での石炭岩石学および塑性特性と、実際の塊収率特性を関連付けるための再現性のある粒度分布データを提供する。
商業的保管移転試験	受入埠頭、鉄道積み替えターミナル、バルクコークス出荷港で、第三者による公平な粒度検証を行う。	コークス生産者と高炉オペレーター間の商業的紛争を最小限に抑える、検証可能な機械制御の分類記録を提供する。

仕様パラメータ	値 / 構成
機器モデルコード	KT-JTF
段構成	4層（5つの出力画分を生成）
スクリーンプレート開口仕様	第1層: 80 × 80 mm 第2層: 60 × 60 mm 第3層: 40 × 40 mm 第4層: 25 × 25 mm
分離サイズクラス	>80 mm, 60-80 mm, 40-60 mm, 25-40 mm, <25 mm (粉コークス)
スクリーンプレート形状	角穴打ち抜き/溶接銅板
スクリーン本体傾斜角	11.5°
励振 / 振動振幅	6-8 mm

仕様パラメータ	値 / 構成
電動駆動モーター出力	0.75 kW
伝達メカニズム	カウンターウェイトフライホイールアセンブリ付き工業用Vベルト
フレームワーク構造	ヘビーデューティ溶接形鋼構造シャーシ
ふるい本体材質	厚肉溶接耐摩耗鋼板
衝撃分離システム	統合型機械的防振減衰マウント
主な動作機能	ドラム試験前の冶金用コークスの機械化分類および粉コークスの定量化